

令和5年11月教育委員会定例会会議録

日時 令和5年11月20日(月)

10:30~12:20

場所 町総合文化会館 研修室4

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
松尾委員、富木委員、
事務局：朝長次長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 太田係長 欠席

2. 会議録署名委員氏名

富木委員、松尾委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(10月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

10・11月事業報告、11・12月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

10・11月事業報告、11・12月予定について

(別紙により朝長次長報告)

※報告事項(追加・その他)

森田教育長

はい。つけ加えさせていただきます。10月の町民文化祭ですが、町内の方々で頑張っておられる方を紹介するために、今年度から県展の優秀入賞者の方々の作品コーナーを設けて展示をさせていただきました。同時に、波佐見高校美工科の生徒たちの作品も、一部は展示しますが、町民の方々にもっと広く知っていただきたいと、いろんな取り組みが出来ないかと今考えているところです。来年度は、高校の文化祭と町民文化祭を合同的にできないかと思っています。11月の町内校長会に、波佐見高校の永田校長に来ていただきました。波佐見高校の頑張っている部分、あるいは波佐見高校生を夢、憧れとして小中学生がどのように関わることができるかという小中高連携、特に美術工芸科の子供たちの作品等々を町民の方々に広く周知する方法など、40分ほど意見交換をさせていただきました。授業交流やイベント交流、作品の掲示、様々なことができるのではないかとということで、もっと美術工芸科の子供たちと交流、そして情報発信をもっとやっていきたいと思います。県展入賞者は県内で1番多いし、大学進学率もかなり今高まっていますが、今年度の美術工芸科の1年

生には、波佐見中学校出身は1人です。毎年2名前後しか、波佐見高校の美術工芸科には入っていません。ほぼ町外の子供たちというところが、非常に残念なところがありますので、頑張っているところを多くの子供たちに紹介したいなと思っています。

11月6日に、県生涯学習課の馬場参事が来庁をされました。年明けた1月に公民館活動の生涯教育関係の県大会において、今、波佐見町がとても注目を浴びているということで、行政代表として朝長次長が、民間代表として小林さんに、波佐見町の官民の取り組みを発表いただきたいということで依頼に來られました。

先ほど「お話の部屋はてな」さんについては、次長からも報告がありまよように、県の方から来年度の文科省への表彰対象として推薦したいと考えているということでした。県内の他のサークルは団員がどんどん減り、無くなったり規模縮小しているが、20数年、積極的に活動されている実績と併せて、波佐見町という小さい自治体に、三つの小学校にそれぞれ1団体、田ノ頭にもあって合計五つの読書ボランティア団体が、それぞれに活躍され、連携性を持って、町に働きかけてされているというところが高く評価されています。県教育委員会が、波佐見町のこの読書サークルの取組について、ぜひ来年度文化賞に推薦をしたいと今打診をもらっているところです。とても素晴らしいことだと思っていますので、前向きに考えていけたら良いと思っています。

その下の南小学校芸術鑑賞会は、他の学校でもやって新聞にも載っていましたが、プロのピアノの連弾でした。とても素晴らしい内容でした。

予定のところで、11月29日に学校警察連絡協議会があります。これも年に2回行われていますが、学校や警察、教育委員会が、子供たちの非行、問題行動あるいは不登校等々についての意見交換、情報交換会が行われます。

12月3日日曜日、波佐見混成合唱団の30周年記念コンサートが大ホールで行われる予定になっています。団員の減少とかあると思いますが、30年も活動を継続されてこられたことは、とても素晴らしいと思っています。

11日の教育支援会議は、来年度の支援学級等々の措置変更についての情報を共有して、方向性を確認するというための会議です。来年1年生に入ってくる就学予定、あるいは今在籍している子供たちが、次年度どういう学級に入った方が1番ベターなのか、支援ができるかというところを話し合います。やはりどうしても支援学級に入ることに対する偏見といいますか、特に両親さらに言えば祖父母等々の心配というか不安があられます。そういうレッテルを貼られることに対して、反対といいますか、そういう声が多くてなかなか理解してもらうことが困難です。子供の一番ベターな選択はどこかなということ考えて欲しいところがあります。間違ったサポートをしないためにも、ぜひ専門的な受診を受けていただいて、その子にとって一番良い環境の中で学習をさせたいとお話はしますが、なかなか理解までしてもらえません。うちの子は家系ですとか、まだまだ小さいのでよく分からないですよと話されます。なかなかそうですねと理解

してもらふまでのところに行かないという保護者がいらっしゃることも、今後課題と思っているところです。

はい、以上つけ加えた部分も含めまして、ご意見、ご質問、ご要望があればお願いいたします。はい、どうぞ。

山下委員 11月5日にありました講堂のスケッチ大会ですが、これは町内の方が参加されたのでしょうか。

朝長次長 そうですね、講堂ファンクラブさんが、町内の方に呼びかけられてされています。今回で5回目か6回目だったと思います。

森田教育長 長崎市の例えば親戚の子供が来るとかということもあります。フリー参加ですので、その時に来て一緒に描く子どももいました。一応町内へ呼びかけをされているとは思いますが、町外からとか、あるいはそのとき飛び入りのことでも全然構わないという形で広げられていますが、なかなか参加者が10名前後で、そこまで大きくなっていません。

山下委員 もし日程とか調整ができるようであれば、文化祭の前にされて、文化祭でその絵を展示して、皆さんにもこういうイベントがあっているとつなげられるのではないかと思います。

森田教育長 レベル的には、ただ描いているというレベルなので、どうなんでしょう。皆さんにお披露目するっていうのが、どうなのかなっていう感じではないかなと思います。小さい子たちは喜ぶかもしれませんが、学年が上がれば、どうなんでしょう。今度確認をしてみまじょうか。

渡邊指導主事 大人の方も今回参加されていましたね。やっぱり子供は子供なりの講堂の描き方でした。まだ時間的に完成が出来てないっていうところもありました。下絵だけとかという子供もいましたね。

森田教育長 ちょっと確認しましょうかね。面白いかもしれませんね。

山下委員 崎戸のスケッチ大会では、作品を展示されるということを知ったことがあります。崎戸は伊勢海老が結構有名なので、伊勢海老のみそ汁を振舞ったりして呼び掛けられていて、描いて良い作品は玉屋とかに展示をされていますので、何かそういうのもあれば良いのではないかと思います。

森田教育長 10月の中旬ぐらいですかね、町民文化祭の1週間前ぐらいの土曜日にしてもらうとかですね。それはちょっと確認をしてみたいと思います。

山下委員 12月の予定のあいさつ運動ですが、教育委員の二重丸をお願いします。冨木さんが立たれる場所の確認とあいさつ運動の旗の準備をお願いします。

す。

森田教育長 他にございませんか。はい、どうぞ。

松尾委員 11月の予定の、中学3年生の波佐見町への提案ですが、何時からですか。傍聴とかもできますか。

森田教育長 お昼からですね。確認はしたいと思いますが、2時から4時だったと思います。フリーにしていますので入れます。議場でやって、傍聴席にはマスクと多分議員さんもおられるかなあとと思います。

松尾委員 発表する3年生の保護者さんまで来られますか。

森田教育長 中学校がどうされているかとは思いますが、一クラス2人、3クラス6人、もちろん委員会室もあるので、傍聴等は来られても構わないと思いますが、学校がどういうふうを考えているかですね。授業の一環だから、他の生徒は自分たちの教室で聞いています。一応子供たちが考える議題が明日までに上がってきます。それをもって、司会をお願いする議長さんに挨拶に伺おうと思っています。

朝長次長 波佐見テレビさんも協力してもらいますが、学校からは内容がどうなるかどうか分からないので、一般の放送では流さないで欲しいと言われています。多分流すまでのレベルではないのではないかと心配されています。ただ他の生徒さんは、電子黒板を使ってユーチューブに載せた映像を自分の教室で見てもらいます。

松尾委員 その時間だけ？

朝長次長 はい。その時間だけですね。波佐見テレビさんも協力しますということで、この前ご連絡をいただきました。

森田教育長 リアルタイムだけでなく、後で見ることが出来ないのかということで、まだ詰めていきましょう。一応総合的な学習の時間として、中学校3年生のテーマが、波佐見町に参画するという形になっています。この前も話したように、以前大ホールを使って町長や西海陶器の児玉社長やスチームシップの社長あたりとトークセッションを最初に行いました。それを受けて自分たちは町にどういう参画ができるのかというところで、テーマを決めて取り組んでいきたいということでした。自分たちの学習のことで、中身によっては町民の関心、保護者の関心もあるかもしれないということでは、一般に公開するかどうかは中学校でも検討されるだろうと思っています。今このことを知っている議員さんは、多分興味があつて来られるだろうと思うので、傍聴席に座られるか、あるいは隣の部屋から見られ

るかと思っておりますが、確認はしてみます。

松尾委員 あともう1点、26日の庄内子供神楽ですが、今目標として300名ぐらい入れたいと思っておりますが、土曜日の集計時点で150～160枚売れていました。教育委員会とか、自治会、各団体さんに幾つかずつチケットを配布して、土曜日に集計した分でそれだけでした。あと、まだ戻ってきてない部分、報告上がってきてない分が大分あると思います。

森田教育長 呼びかけは？放送とかはされましたか。

松尾委員 放送は1回入りました。

馬場委員 文化協会でも回ってきていますので、まだ情報が上がっていないかも知れませんね。結構あるとは聞いています。

渡邊指導主事 先ほどの中学校からの提案ですが、時間は開会挨拶が14時からです。そして、閉会の挨拶終了が15時50分となっています。14時から15時50分の午後時間で5・6時間目を使って行われるようです。発表者6名、議場に行つて発表を行います。そうですね後の子供たちは、リモートで参加をする形になります。

森田教育長 放送については、学校の思いもあらわれるかもしれないというところもあるようです。

朝長次長 この前、教頭先生に町民向けの放送はどうされますかっていうことをお聞きした時、「そこまでは、ちょっと…」という話をされました。

森田教育長 長崎新聞だけは情報提供しましたが、そうですね初めての部分があるので、今回やってみて、様子見て次年度以降というところも出てくるかもしれません。一応、学校には、こういう意見が出ましたということは伝えたいと思います。

他ございませんか。はいどうぞ。

富木委員 中学校の修学旅行が10月にありますが、病気で何人か帰って来られた方の話を聞きましたが、こういったときは学校の方で対応はされると思いますが、どうされるのでしょうか。

渡邊指導主事 今回は、中学校で行く前にもインフルエンザで3名参加出来ませんでした。途中で体調不良により早退をする子供たちは、保護者が原則迎えに行くというようなことになっています。ですから、初日1泊目の鹿児島で体調を崩した子供たちは、鹿児島まで車でお迎えが4名だったかあっています。途中途中で状況に応じてお迎えが来ていただいた形になっています。

でも子供も保護者も残念ではあったと思いますが、こればかりは、もうどうしようもないので、保護者の方にもそういう説明を十分にされていたと思います。

森田教育長

基本的に、他の学校でも保護者の方の送迎、お迎えというのが原則です。タクシー使っただけということになると、どうしても職員がそこについていくことは人間的に出来ないの、保護者の方をお願いをすることが、本町だけじゃなくて他町でも一番多いだろうと思います。あと経済的な支援の部分がどうなるか分かりませんが、基本的にはそれが原則になります。

そこが島への修学旅行ともなるとまた違って、難しい部分が出てきます。島については、海上タクシーの船チャーターについては教育委員会で補償し、唐津までは保護者の方に迎えに来ていただくことで一応確認はしています。中学校とのバランスの関係があるので、そういうスタンスでいこうと確認をしました。

松尾委員

お迎えに行くのは旅行の保険が利くと、中央小学校の6年生の説明ではありました。高速を使って自分たちでお迎えに行く交通費は保険の対象になると事前の説明会では説明がありました。

森田教育長

ちょっと確認しましょう、今回も鹿児島と熊本で合わせて10人近く迎えに来てもらい、かなりの高額になると思うので、その部分については、もう一度確認しましょう。

今まではそういうことは無かったので、だぶんコロナからそういったことになっていると思います。コロナで頻りに迎えに来てもらうことが増加したのではないかと考えています。そういった対応を保険会社の方でも、あるいは旅行とのセットで出来るようになったのではないかと考えていますので、もう一度確認したいと思います。そうなるとう鹿兒島まで結構掛かったと思うので、保護者の方が大変助かられると思います。

他ございませんか。それでは、その他の総合教育会議について、説明をお願いします。

4. その他

1) 波佐見町総合教育会議（案）について

朝長次長

今月29日の町長との総合教育会議の案ということで、6ページから資料をつけさせていただいています。7ページが、最近の児童生徒の推移ということで、これは戸籍係かデータをもらいまして作っています。8ページには各地区の児童生徒の数字を上げております。ちょっと何人か一致しないところがありますが、中学校では他所の中学校に行かれています方だと思います。小学校の合わないところがありますが、戸籍係から頂いた数字ということで、説明をさせていただきたいと思っています。あと9ページ

が、今後の教育課題として一覧表にしています。こういった流れで、町長とお話をさせていただければと思っています。学校施設の改修から、学力向上、ICTの推進、コミュニティースクールの充実、ふるさとキャリア教育の推進、その他ということを書いています。

森田教育長

来週開催されます総合教育会議の資料ということです。意見交換会、あるいは町長とのフリートークあたりができれば良いかなということで思っています。

中央小学校の通学路は、一応12月末で前半終わりということで、今後は横枕2号線の方とか、あるいは土地の買収等々に進んでいけばと思っていますが、そちらはまだ全く手がついていません。まずは横枕2号線の方から残った部分をまず仕上げていってもらいたいと思っています。そこが出来上がれば、小中学校とも大変、朝の通学については、安全面が確保できるので、早急に土地の買収については動いてもらいたいと思っています。南小学校についても、年次計画の中でされていると思っていますが、ただ事故が起きてからでは遅いので、起きる前に作って欲しいと、建設課には伝えているところです。インフラについては予定を立てていても、災害等々で順番が変わったりすることもあるので、予定としてはこういう大まかに上げています。

2番目のバリアフリーについては、国の施策で一応7年度末を目途にということでやっていきたいと思っています。町内4校の現況を調べていく中で、全く出来ていないもの、何とかなるものとか整理していますが、スロープ関係はできています。国の施策としては、緊急避難先として指定されている学校については、7年度末を目途にエレベーターの設置、車椅子対応のトイレ、スロープの設置という、この三つの施策が求められています。小学校について、本町の場合はかなりのレベルで進んではいますが、中学校は古い校舎ですから、ほぼ何も出来ていませんので、まずは中学校を最優先にしていきたいと思います。そして今中央小学校の5年生に車椅子の子供がいて、園からの情報では年中さんに、対応が必要な子供が2名いるという情報がありましたので、エレベーターについては、まずは中学校、次に東小、中央小を優先するという形で計画を立てています。南小には該当する子供の情報が無いので、その次に整備する計画としています。車椅子用のトイレについては、かなり出来ているところがあるので、大体同じような形でやっていけると思っています。7年8年には一応バリアフリーについては、町内4校ともほぼ出来上がる計画でやっているところです。学力、ICTもそこに書いてあるとおりです。

6年度から8年度までの波佐見町の振興実施計画というところで、予算の大きな大枠の中でどういうふうなことができるだろうかと、各課からいろんな要望意見等々が挙げられていて、整理整頓されて、これが予算に繋がっていくものと思っています。

6番目その他で人的体制の充実として要望しているものとして、学力向上あるいは学力向上以前の特別支援教育の支援員が、各学校どうしても人

数を増やして欲しいという要望が挙がってきています。離席だったり、奇声を上げたりとか、他の子供たちに迷惑を掛けて集中出来ないという状況の子供たちが増えてきました。どうしてもサポート体制を充実して欲しいという学校現場からの大きな要望がありました。ICT支援員さんを今4校で1名来ていただいています。生徒指導とインターネットを介してのいじめ、トラブルというのがこれから相当数増えてくるだろうと予想出来ますので、そういったことに対応してもらってICT支援員さんをもう1名増員し、2名体制でやっていきたいと思っています。SSSというのは、スクール・サポート・スタッフの略で、先生方や教頭先生の業務をサポートする支援員を、今2校で1名、計2名任用にしていますが、それをできれば学校1名に出来ないかということで、要望していきたくています。学校サポーターについては、謝金という取扱いをしています。今約10名の方がいらっしやって、ここをもっと増やすことが出来ないかと、呼びかけしていきたくています。

子育て世代に優しい、波佐見町が「選ばれる町」として、町内外の現役保護者世帯の方々に発信をしていきたくています。県の調査では、無償化について自治体で取り組んでいるということで東彼杵町と川棚町が挙がってきますが、これは一般会計ではなくて、東彼杵町は過疎債を使って時限立法的に来年の3月まで無償化をしています。川棚町は中学校3年生のみを完全無償化にされていて、まだ今のところ試行的なものということで他の学年はされていません。もし一般会計で完全無償化すれば、県内の自治体では波佐見町が第1号になると思いますが、今でも第2子以降無償化というのは県内で一番進んでいます。更に踏み込んだ形で、町長の大号令で完全無償化ができれば、これはとても魅力的だなと思っています。

入学援助金というのは、前の谷口教育委員さんが、保護者世帯としては小1、中1の入学のためにお金が結構かかるという話をされていました。これも話題になりましたが、島原市は来年度から1年生のランドセルは、全市統一的なものを市の予算で購入されます。ランドセルと言うよりもリュックサック的なものです。それを島原市が、一律配布という形で900万円だったか予算化されるようです。大村市も、中学校の制服に対してズボン等々も全部フリーにされていて、それについての補助という形になっています。

文科省から先日、学用品に係る経済的な保護者の負担を軽減しなさいと通知が来ています。例えば、制服変更や新たに制服を買うのであれば、共同購入で安くなるので、そういう配慮しなさいとか、学用品等々で保護者の負担がとて大きくなっているの、各自治体は保護者負担が低減するような方法を検討しなさいという通知が来ています。実際小学校1年生データでは入学時に10万、中学校1年生で10万強ということをおっしゃっています。ここを町長にお願いをして、私の試算は5万として予算立てて、5万×130人、5万×130人で町長の方には上げています。ランドセル云々よりも、現金の方がいろいろ使い勝手が良いかなと思っています。

通学補助については、高校生の通学のことですが、調査をしたら私立の

学校に行っている子供たちはスクールバスで大体月に1万円です。ところが、例えば佐世保工業高校とか遠地に行っている子供たちは、バス代、JR代等々で一番高額の月3万円でした。交通費を見ても、現状的に波佐見中学校は55%が私立で、45%が公立です。昨年度あたりから逆転しました。私立の学費とかはほぼ公立並みで、そしてそういう補助的なものは、返って私立の方が充実しているところもあるので、ますます公立離れを起こして、私立の方に行かれる現状があります。こういうこと考えた時、高校生への通学補助、半額補助とか3分の1補助が出来ないかということ、提案をさせていただいています。東彼杵町は来年度から、通学補助をされます。東彼杵町は高校がありませんので、全員が町外に行っているので、2分の1または3分の1で、これも先ほど言った過疎債を使って、来年度から東彼杵町は通学補助が行われる予定であると新聞発表もあっています。

入学援助金と通学補助金についての提案をさせていただいていますが、今の段階での町長部局の回答は保留と言われています。保留段階ですが今の保護者の負担の現状を見たときには、一番欲しいところですので、計画的に充実してもらえれば、保護者負担も随分低減して、魅力あるまち、選ばれる町、移住定住の策として波佐見町が選ばれるまちになるように、期待を込めて提案をしているところです。

こういうことの意味交換が出来たらと思っていますので、教育委員さんの方からも、保護者世帯とか、これまでの経験等を生かして、どういうまちづくりをすると少子化対策や移住定住の促進が図られるのかという一番の大きなテーマの中で、町長と意見交換を是非やっていただければ大変ありがたいと思っています。もちろんこれ以外でも、構わないと思っていますので、ぜひ有効な会議の場に、意見交換の場になればなと思っていますので、ざっくばらんに、本音の部分でお話ししていただければ、大変心強く感じますので、よろしく願いいたします。

11月に行われています総務文教委員さんたちと、町Pの方々の意見交換会ですが、私も全然、学校ももちろんですが、事前情報は全くありませんでした。学校に確認しましたが、学校にも一切その情報が入っていなかったということで、学校としてもちょっと違和感を覚えるのが正直なところでした。学校としては、PTA、学校運営協議会が重要なパートナーとして捉えていますので、本来ならば、学校や学校運営協議会の場で、今の現状や課題を考えて、こういうことをやれたら良いよねとか、こんなことをやりたいから、町にこういうこと要望しようねと話し合ったものを、教育委員会を介して、議会や行政に提案するっていうことが多分本来の流れだと思います。今回のことがまかり通ってしまうと、困ったことは学校や教育委員会には言わなくても、もう議員さんに言って良いというようなルートになってもらっては、非常に困るということがありましたので、私たち学校サイドとしてはこれを問題として捉えています。あくまでも議員活動としての一環だとは思いますが、ちょっと方向性が違うのではないかと、違和感を覚えたので、教育委員さんの方にも情報提供と

いう形で今回ご説明しています。

ご感想ご意見あれば聞かせていただければと思います。他に、持ち寄り議案として、委員さんの方から、もしありましたら、お聞かせいただければお願いします。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

馬場委員 すみません。先ほどの議員さんとの話し合いですが、学校側も全く知らず、直接町Pの方に連絡があったということですか。

森田教育長 校長、教頭とも4校とも全く知りませんでした。議会事務局の方に確認をしましたが、総務文教委員会の中でそういう話題が上がったようです。

馬場委員 これは、町長はご存知ですか。

森田教育長 町長はどうでしょうか。

富木委員 何かの団体の保護者だけだったら良いでしょうが、PTA、Tが入っていますから、やはりそこは問題だと思いますよ。

馬場委員 そうですね、今までにないことですよね。個人的にちょこちょこっというぐらいの、本当にざっくばらんな意見交換会だったら良いでしょうが、こういう組織がらみでされるのは、教育委員会という立場がないがしろになってしまいますよね。我々としては心外ですよね。

森田教育長 今回の件は、非常に残念でした。はい、他にございませんか。

山下委員 11月のあいさつ運動の日に、川内の小学生が1人で登校して来ていました。私に、今日は同じ班の子供が車で行って、自分は親が早くから仕事に行くので乗せてもらえませんでしたと訴えてきました。当日は、雨は降っていませんでしたが、風が強かったということで保護者が車通学を決められたようです。私は、その子に一人で歩いてきて偉かったね、気をつけて行ってらっしゃいって声を掛けて見送りました。友達の保護者の車に乗せのもらうこともできたでしょうけど、親子で話し合われた結果だと思いました。交差点に立っていると、保護者の方やおばあちゃんが車で送っている姿を多数見かけました。近所の人と話をしましたら、うちの2年生の子どもが、友達が車で行っているの、自分も送ってって言ってきますが、お兄ちゃんと歩いて行きなさいと言ったら歩いていきますということでしたが、来年からは1人になるので、すごく心配ですっていう話をされました。PTAの話題として、挙げて欲しいなと思います。子どもが1人

で歩いてきて、私に訴えてきたんですね。そういう子どもの意見を先生にも伝えられていないのかなあと、どうかなと。保護者さんたちも分かっている、なかなかPTAの方には上げにくい現実があるような気がして、その辺はもう少し、オープンに話合いが出来たらなあと感じたところでした。また以前にもお話をしましたが、この日も風が強くて、男の子の帽子が飛ばされそうって言ってきたので、飛ばされそうな時は被らなくても良いよって言ってあげましたが、学校の方からも、そういった天候とかの時には、保護者の方に防止策について、いま1度、またお話をさせていただければと思いました。

森田教育長

帽子の件については、あの後すぐ学校だよりで出しました。だけど何回かやっ行って行かなければと思っています。最初の件については、先ほど次長からもあったように総合教育会議でも取り上げるようになっていますが、中学生の保護者送迎は本町だけではなく、もう全国的な話題にはなっていることと思っていますが、どんどん増えていますし、小学校の自動車通学も増えてきているのも事実です。以前は余りありませんでしたが、余程の体調不良とかケガとかぐらいでしたが、何もなくても中学生の兄妹を送るついでということが、多分あるだろうと思っています。ちょっとした理由、これぐらいは歩いて行けよというぐらいでも、もう保護者同士で連絡取り合って、今日は車で行きましょうという形にしているだろうと思っています。乗っている子、乗って行けない子っていうところもあるだろうと思っています。やっぱりこの登校については、大きな変換期に来ているのかなと思っています。県内の自治体では、いよいよスクールバスを利用しようという自治体も出てきています。全児童生徒、スクールバス、熱中症とかいろんな社会不安もあるだろうと思いますが、本町の場合は今のところまだ耐性という、徒歩登校のメリットっていうか、良さという部分を訴えて協力をお願いしています。現実的に、今の中学校の現状や小学校の少し気になる状況等々を見た時に、この徒歩登校と熱中症や危険性というのは、大きな話題になりつつある、遠い将来ではないとは思っていますが、県内自治体でもそういう話題が上がってきています。実際、中学校の保護者から熱中症対策で、スクールバスの要望は上がってきていると聞いています。はい、他に、今までのうちでもしあれば、全体的に何かございませんか。

無ければ、時間も延長してしまっていますので、次回12月の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

では、次回教育委員会は、12月22日金曜10時から、総合文化会館で開催したいと思います。長くなりましたが、これで11月の定例教育委員会を終わります。

※次回定例会予定 令和5年12月22日（金）10時00分から
波佐見町総合文化会館

令和5年11月20日教育委員会定例会会議録署名	
署名	冨木 義典
委員	松尾 保子